

第92期 定時株主総会 ご質問内容とご回答

質問1

今期の業績予想について、増収減益となっているが、その要因について教えてほしい。

回答1

(回答者:代表取締役社長 新貝 元)

今期の業績については、ご指摘通り、21年度実績と比べ、増収減益の予想を立てています。売上高が増える要因については、主力のステンレス鋼線について、LMEニッケル価格が高騰しており、この分の価格転嫁で販売価格が上がることにより売上高が増える見込みです。一方、販売数量については、21年度は月平均3,583トンあったものが、今期は3,261トンと減少を見込んでいます。

その要因としては、21年度はコロナ禍からの急回復があり、しかも顧客での在庫が枯渇している状況から立ち上がったことから、実需に加え在庫の積み上げ分も販売することができました。今期は、その在庫積み上げ分が期待できないことと、上半期の需要について、半導体不足等の影響で供給面の体制が産業全般で追いついていないことに加え、ウクライナ情勢や中国でのロックダウンの影響もあり、実需自体も昨年と比べ減少しています。下半期には実需は昨年並みに戻るものと見ているものの、通期では昨年と比べ、販売数量の減少を予想しており、このステンレス鋼線の販売数量減少が減益の一番の要因となっています。

また、電力や都市ガスなどエネルギー価格高騰によるコスト増については、価格転嫁をしっかりと進める予定であり、多少の期ずれはあるものの、減益要因としては考えておりません。

一方、半導体関連業界向け超精密ガスフィルター(NASclean®)については好調であり、昨年よりさらに勢いよく伸びることを予想するなどプラス要因と考えており、これらを総合的に判断して、今期の業績予想である売上高485億円、経常利益44億円を計画しております。



Micro&Fine Technology



日本精線株式会社